



審判(副)委員長



戦評用紙

種別 **バレーボール (精神)** 会場 **小浜市民体育館**

平成 **30** 年 **10** 月 **14** 日 日曜日 第 **2** 日目

特設A コート 第 **6** 試合

1回戦(第 試合) 準決勝(第 試合) 3位決定戦 決勝戦 交流戦(第 1 試合)

◎試合結果 (該当する種別にレ印)

勝利チーム	}	25	—	14	}	0	福井県	}	都道府県、指定都市名	
岡山県		25	—	23						2
都道府県、指定都市名			—							

【審判員】
 主 審： 熊谷 陽(福井県) 副 審： 榊田 昭二(福井県)
 記録員： 松宮 誠(福井県) A・S： 辻 美樹羽(福井県)

【戦 評】 記載者： 古田 哲也

開催地福井県対岡山県の一戦。序盤、岡山県は5番布下、1番木下のサーブで流れをつかみ、岡山県がリードする展開となった。福井県も16番木原の力強いスパイクで追いかける。中盤以降も岡山県はサーブで攻め続け、着実に点数を重ねる。さらに岡山県は代わって入った14番寺西がサービスエースを決め、勢いに乗る。終盤は岡山県2番横溝が次々にスパイクを決め、岡山県が第1セットを先取した。

続く第2セット、両チームのサーブが機能し、一進一退の攻防を見せる。そこで抜け出したのが岡山県であった。9番重友のコースをつくサーブで、6連続得点に成功する。終盤に入り、地元応援団の後押しを受けた福井県が驚異の粘りを見せる。9番松井、18番嶋津、14番福田のサーブで連続ブレイクに成功し、岡山県に迫る。しかし、最後までサーブで攻め続けた岡山県がそのまま2セット目も奪い、ストレートで勝利した。